

令和3年12月 記者会見資料一覧

資料番号	資 料 名	担当課(問合せ先)
1	令和3年茂原市議会12月定例会が開会 (開会日 12月1日(水)午前10時)	総務課 0475(20)1519
2	茂原市産業まつりをウェブで開催しています	農政課 0475(20)1526
3	令和4年茂原市成人式について	生涯学習課 0475(20)1559
4	「もばら生活ガイドブック2021年度版」の発行について	秘書広報課 0475(20)1512
5	催し物のお知らせ	
	美術館・郷土資料館からのお知らせ	美術館・郷土資料館 0475(26)2131

令和3年茂原市議会12月定例会が開会

令和3年茂原市議会12月定例会が12月1日（水）に開会します。
今回は、報告1件、議案12件を上程する予定です。

会 期 : 12月1日（水）～12月16日（木）16日間

詳細については、別紙資料のとおり。

【問合せ先】

総務部総務課法規文書係 担当：稲子

TEL 0475（20）1519

令和3年11月30日

茂原市産業まつりをウェブで開催しています

茂原市産業まつりは、毎年11月に開催し、茂原市の産業をPRするため、商工業品の展示や農産物の販売などを行い、毎年多くの方々にご来場をいただいています。

本年は、新型コロナウイルス感染症対策のためウェブでの開催とし、実際の会場をアニメーションにして、ウェブならではの方法で、茂原市の魅力を紹介します。茂原市産の野菜や新米などが当たる抽選会も行いますので、ぜひご覧ください。

1 開催期間（閲覧期間） 11月25日（木）13時～12月10日（金）17時

2 内容

茂原市の農産物や観光、物産などをウェブで紹介、吹奏楽や和太鼓の演奏やダンスパフォーマンス動画の配信、茂原市産の農産物や物産が当たる抽選会 等

3 閲覧方法

<https://mohara-sangyofes.com/> にアクセスしていただくか、以下のQRコードから閲覧ができます。



4 主催 茂原市産業まつり実行委員会

【問合せ先】

経済環境部農政課振興係 担当：石井

TEL 0475（20）1526



令和3年11月30日

令和4年茂原市成人式について

新型コロナウイルス感染症対策として、午前と午後の2部制で成人式を開催致します。

- 1 日時 令和4年1月9日(日)
午前の部 10時30分開式 11時終了予定
午後の部 14時30分開式 15時終了予定

- 2 会場 市民体育館

- 3 対象者 平成13年4月2日～平成14年4月1日生
760名(男393名・女367名 11月1日現在)
※前年度 対象者数 750名(男360名・女390名)

午前の部 茂原・南・早野・西陵中学校卒業生 約400名
午後の部 東・富士見・本納・市外中学校卒業生 約400名

- 4 式次第 開式のことば
国歌斉唱
主催者あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
新成人のことば(各部2名)
閉式のことば

※運営委員は新成人16名(昨年度22名)

※平成13年成人式より新成人による進行等主体的な運営を実施

※式典中は手話通訳を依頼

令和3年11月30日

「もばら生活ガイドブック 2021 年度版」の発行について

市役所での各種手続き等の行政情報や地域・観光情報等、市民の暮らしに役立つ情報をまとめた「もばら生活ガイドブック 2021 年度版」を発行しました。

このガイドブックは茂原市と株式会社ゼンリンが官民協働事業として発行し、制作・配付にかかる費用は市の予算をかけず全て広告掲載料により賄われています。12 月上旬から同月末日にかけて市内全戸に順次配付します。

1. 発行概要

(1) 発行部数 47,000 部

(2) 配布方法 ポスティングによる全戸配布。転入者へは、転入手続き時に市民課及び本納支所窓口にて配布。

【問合せ先】

総務部秘書広報課広報広聴係 担当：鈴木、唐鎌

TEL0475 (20) 1512



令和3年11月30日

催し物のお知らせ

①美術館・郷土資料館からのお知らせ

▼美術収蔵品展「王子江 雄原大地（部分展示）」

（10月21日（木）より）開催中～1月10日（月）

平成8年NHK「にっぽん点描」で一躍話題になった王子江の約100メートルの水墨画、第1作目「雄原大地」の後半部分を展示。

▼共催展示「朝比奈隆卒寿展」 12月3日（金）～22日（水）

広島出身で、渡米後、セリグラフ(版画)作品で国際的に活躍し、睦沢町に在住する朝比奈隆の洋画展。

▼共催展示 「書道研究 芝蘭会展—第30回記念—」（市民ギャラリーも使用）

1月4日（火）～10日（月）

会員の書作品展示と30回記念特別展示として外房生まれの篆刻家石井雙石てんこくかいしいそうせきの書作品も展示。初日は9時から、最終日は16時まで。

▼共催展示 「市内高校合同美術展」（第2展示室） 1月14日（金）～19日（水）

初日は9時から、最終日は15時まで。

▼共催展示 「新春刀剣展、陶芸名匠展」（第2展示室）

・新春刀剣展 1月22日（土）・23日（日）

・陶芸名匠展 1月24日（月）～30日（日） 24日は13時から。

▼美術収蔵品展 「郷土ゆかりの作家展」 1月13日（木）～2月13日（日）

▼美術収蔵品展 「新収蔵の書と陶芸展」 1月22日（土）～3月13日（日）

近年、寄贈を受け、新収蔵となった細谷長生ほそやちやうせい、板倉花巻いたくらはなまきの書など計17点を展示。1月31日（月）からは一宮町在住の魚地貞夫うおぢさだお、同町出身の渡辺輝人わたなべてるんどの陶芸作品計24点を展示。
※1月30日（日）までは書のみでの展示となります。

▼共催展示 長生フィルム会 2月17日(木)～3月4日(金)

初日は9時から、最終日は17時まで。

▼第1回テーマ展(市史編さん事業展示)「近代の教育その1 千葉県簡易農学校～千葉県立茂原農学校へ」 (9月18日(土)より)開催中～12月12日(日)

現在の千葉県立茂原樟陽高等学校の前身である千葉県簡易農学校は、明治30年(1897)、千葉県千葉町(現千葉市)に、「農事ニ関スル普通学理ニ通曉スル実業者ヲ養成スル所」として設立された。この頃県内の県立中等学校は、千葉県尋常中学校と千葉県簡易農学校の2校のみで、県立中等学校の設立を要望する運動は各地で活発であった。茂原では、いち早く鶴枝村の千葉彌次馬(天夢)、高橋喜惣治、茂原町の安川寛三郎、五郷村の井桁三郎平等有志たちが活動し茂原への誘致を進め、簡易農学校の敷地として約一万坪の土地を県に寄付した。茂原への移転が決定し、同32年(1899)野巻戸の新校舎がほぼ完成したころ茂原町へ移転し、校名も千葉県農学校に、同34年(1901)には千葉県立茂原農学校と改称し、県内でも数少ない中等教育機関として実業校として近代の教育に果たした役割が大きかったことを紹介する。

▼郷土資料館常設展示 12月18日(土)～3月6日(日)

茂原市内を代表する神田山遺跡や国府関遺跡、下太田貝塚を紹介する。その他養蚕の道具、県指定文化財になった人車等を展示。

休館日 臨時休館・年末年始(12月29日～1月3日)

開館時間 9時～17時

※上記展示すべて無料

※共催展示は主催者の都合で、予告なく名称・会期が変更になる場合があります。

【問合せ先】

美術館・郷土資料館 担当：佐藤

TEL0475 (26) 2131